第2次対馬市環境基本計画

『つしま地域循環・共生プラン』

森・川・里・海・まち・ひと・しごとの好循環と
豊かな共生社会を次世代に引き継ごう！



令和7年度版　環境レポート

はじめに

■計画をつくる意義 ～なぜ環境基本計画を作るの？～

第1次対馬市環境基本計画では、2023（R5）年までに実現したい対馬の森・川・里・海・まち・ひとの姿（ビジョン）を市民目線で描き、様々な施策を展開しました。第2次対馬市環境基本計画では、世の中の動向やこれまでの10年間の成果や現状、課題を踏まえ、あるべき姿や今後優先して取り組む施策を整理します。

策定目的①：環境基本条例の理念の実現

環境基本計画は、人とツシマヤマネコをはじめとする野生動植物との共生を目指し、現在及び将来の市民が健康で文化的な生活を確保することを目的として、環境基本条例に掲げる基本理念の実現への目標と総合的な施策の方針及び、総合的かつ計画的な施策推進に向けて必要な事項を定めるために策定します。

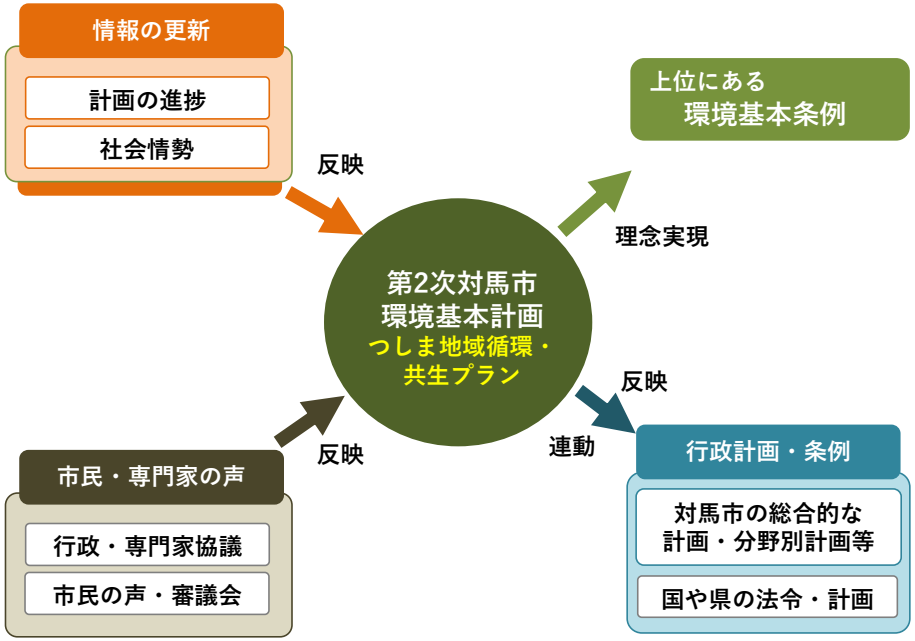
策定目的②：行政職員や市民・事業者の道標

計画は、行政と市民が同じ目標に向かって力をあわせて行動をおこすための道標です。市職員は、環境基本計画に沿って、制度や施策、各種事業を設計し、市民や島内外の事業者等と連携して、環境保全と創造に資する取組みを推進していきます。



■計画の位置づけと策定方法

環境基本計画は、対馬市環境基本条例の施行のための具体的な施策を示したものであり、対馬市の各種計画と整合性のある環境分野の計画です。第1次計画の進捗や社会情勢、国の法令や長崎県の計画も踏まえて、市民や専門家、行政職員の声をもとに作成しました。



対馬の目指すべき姿

■対馬市のビジョン

自立と循環の宝の島 対馬

第2次対馬市総合計画では、「自立と循環の宝の島 対馬」をビジョンとして掲げ、ひとづくり、なりわいづくり、つながりづくり及びふるさとづくりの4つの挑戦に取組んでいます。本計画では、この4つの挑戦に貢献すべく、環境基本条例に基づき、「環境保全と創造」の切り口から総合的な計画・施策を記載します。











実現に貢献

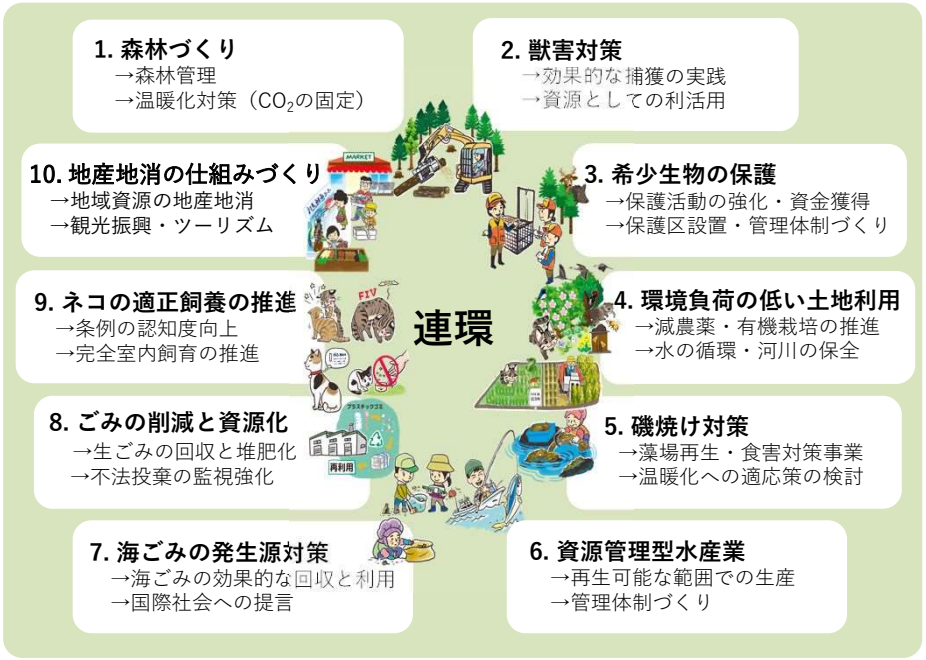
第2次対馬市環境基本計画

ビジョン実現への施策

自然資本UPの仕組みをつくる！

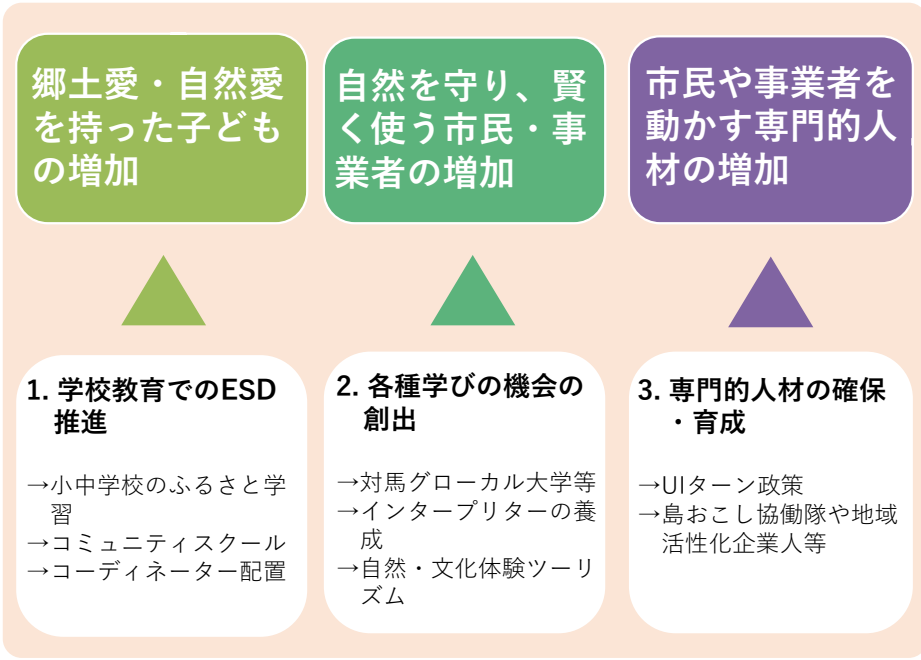
森・川・里・海・まちの繋がりを再構築することで、生態系の回復力が発揮され、自然資本が高くなります。生態系の回復力を超えた社会・経済活動は持続可能ではありません。自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力あるしまづくり（グリーンインフラ）を包括的に進めていきます。

自然資本の再生と持続可能な利用を推進するために、10のテーマ・課題について、優先的に取り組むべき施策を整理しています。



意識改革と行動変容の仕組みをつくる！

対馬のビジョン実現への「根っこの課題」は、環境保全をはじめとする持続可能な社会に向けた市民や事業者等の**意識改革と行動変容**にあると考えられます。本計画では、次世代を担う子どもたちにとどまらず、大人たちへのESD(持続可能な開発のための教育)の推進により、市民や事業者、行政職員などの意識改革と行動変容を促すことを重要課題として掲げます。



ビジョン実現への施策の取組状況

森 5-1-(1) 多面的機能を発揮できる森林づくりの推進

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
適切な保育と施業の実施及び主伐後の再造林の推進 なりわい1-2-2-①	A	森林整備計画の改定 対馬市森林施業ガイドライン及び森林整備計画に準じて、地域における適切な森林整備を推進する。	対馬市森林づくり委員会の開催　1回	対馬市森林づくり委員会の開催　1回	対馬市森林づくり委員会の開催　2回	農林しいたけ課
		対馬流域森林整備推進協定 国、県、市、林業公社、森林組合の5者協定による連携した森林整備を推進する。	推進協定運営会議の開催 1回	推進協定運営会議の開催 1回	推進協定運営会議の開催 1回	農林しいたけ課
森林環境譲与税の有効活用 なりわい1-2-2-③	B	対馬市森林環境譲与税活用事業補助金 森林環境譲与税を財源として、適正な森林環境整備を促すために補助金を交付する。	再造林　8.00ha 防鹿ネット施工　4,000m 防鹿ネット補修　1,000m 未利用材活用　28,000t 森林作業道補修　48,000m	再造林　1.07ha 防鹿ネット施工　1,650m 防鹿ネット補修　2,300m 未利用材活用　25,019t 森林作業道補修　55,928m	再造林　2.00ha 防鹿ネット施工　2,000m 防鹿ネット補修　2,500m 未利用材活用　28,000t 森林作業道補修　55,000m	農林しいたけ課



総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
林業やしいたけ原木による森林への影響や里海への環境影響評価とモニタリングの実施 ふるさと1-1-2-⑨	C	－ －	－	なし	なし	農林しいたけ課
広葉樹の森林保全と持続可能な利用に資する取組みへの支援 ふるさと1-1-2-⑧	C	－ －	－	なし	なし	農林しいたけ課
市営林の適切な管理と活用、保全 なりわい1-2-2-④	C	オフセット・クレジット提案事業 市営林の間伐地域での二酸化炭素吸収量をクレジット化し、その売却収入を基金へ積立てて市独自の施策を展開する。	J-クレジット販売数量 15t-CO2	J-クレジット販売数量 15t-CO2	J-クレジット販売数量 35t-CO2	農林しいたけ課
		市営林整備事業 「対馬市市営林森林経営委託」に基づき、利用間伐を主体とした計画的な森林整備を推進する。また、併せて市営林の主伐・再造林を図る。	間伐面積　20.0ha 6か所	間伐面積　19.55ha 5か所	間伐面積　20.0ha 6か所	農林しいたけ課

森 5-1-(2) 効果的で効率的な獣害対策の推進





総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
有害鳥獣の捕獲報奨金の継続及びハンター・罠捕獲従事者の育成支援 ふるさと1-1-2-②	A	ながさき鳥獣被害防止総合対策事業 捕獲報奨金を交付する。 （猪・鹿） 成獣：10千円/頭 幼獣：9千円/頭	猪　6,000頭 鹿　10,000頭	猪　6,590頭 鹿　7,999頭	猪　7,000頭 鹿　8,000頭	農林しいたけ課
		対馬猪鹿活用促進事業 捕獲技術向上及び捕獲者のモラルアップ研修を年1回実施する。	年1回実施	年1回開催 （令和8年度捕獲従事者全員が受講）	年1回実施	農林しいたけ課
		対馬市有害鳥獣被害防止対策事業 地区捕獲隊を促進するために、捕獲隊推進補助金を交付する。 （猪・鹿：2千円/頭）	1地区捕獲隊結成 年10頭捕獲	新たな捕獲隊結成なし 捕獲隊による捕獲数 猪236頭 鹿120頭	捕獲隊による捕獲数 猪250頭 鹿150頭	農林しいたけ課
搬送・流通体制の整備と加工製品の販路拡大 ふるさと1-1-2-⑤	B	対馬猪鹿活用促進事業 搬送は業者に委託し、加志の加工場で解体、食肉加工を実施する。 島内小売店や学校給食への提供による販路を拡大する。	民間施設からの給食ジビエの提供	民間施設からの給食ジビエの提供	民間施設からの給食ジビエの提供	農林しいたけ課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
獣肉加工や皮革製品等加工品に関する各種支援 ふるさと1-1-2-⑥	B	対馬猪鹿活用促進事業 捕獲された猪・鹿を肉・革として資源活用する事で、多様な方が被害対策に関わるきっかけを作る。	捕獲隊数　1地区 地区学習会開催　3地区	実績なし レザークラフト体験、販売実施（農業まつり）	レザークラフト体験・販売	農林しいたけ課
		対馬猪鹿活用促進事業 獣害から獣財へを体感できる教育活動として、島内小中学校の総合的学習等で、猪・鹿の被害状況、対策、歴史を学び、肉や革を使った実習を行う事で、ネガティブな問題をポジティブにとらえ、対馬の様々な問題に向き合い解決できる子供たちを育成する。	民間施設からの給食ジビエの提供	民間施設から給食ジビエの提供	民間施設からの給食ジビエの提供	農林しいたけ課
		対馬猪鹿活用促進事業 食べる事から被害対策にかかわる人を増やすためにも、手に取りやすい加工品を開発する。	施設閉鎖につき不可	施設閉鎖につき不可	施設閉鎖につき不可	農林しいたけ課



総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
集落営農や有害鳥獣対策の捕獲隊等の一次産業や加工業等の従事者への支援検討 ひと1-2-3-④	B	雇用機会拡充支援事業（国庫） 対馬市猪鹿加工処理施設の終了後に民間施設が新たに運営を開始する。	離創協の協力による食肉処理施設の開業を開業者と協議して進める	離創協と民間事業者が中心となり開業に向けて進めたが、破談	雇用機会拡充支援事業を活用しての民間施設の開業 1施設	農林しいたけ課
モデル地区での支援の充実及び生態系被害エリアでの防護・捕獲 ふるさと1-1-2-③	C	対馬市有害鳥獣被害防止対策事業 捕獲報奨金を交付する。 （猪・鹿：9千円/頭）	1地区当たり捕獲頭数 年間　20頭	令和7年度実績　356頭 （１地区当たり16頭）	捕獲隊による捕獲数 猪250頭 鹿150頭	農林しいたけ課
GIS等を活用した情報の一元化、個体数や被害状況、植生のモニタリングの実施 ふるさと1-1-2-④	C	対馬猪鹿活用促進事業 地域ぐるみでの被害対策を促進するために、被害箇所、防護柵設置状況、捕獲情報を航空写真上に可視化し、地区にあった被害対策の方法を住民同士で話し合える場づくりをする。	地区単位での防護柵の現地調査、老朽化による再整備を計画策定　1地区以上	要望調査により地区単位での現地調査を実施　5地区 再整備計画を計画　5地区	地区単位での防護柵の現地調査、老朽化による再整備を計画策定　1地区以上	農林しいたけ課
多様な主体の連携と情報共有 ふるさと1-1-2-⑦	C	環境省主体 対馬ニホンジカ対策戦略会議 環境省、林野庁、長崎県、大学等において情報共有を行い、対策を講じる。	年数回ワーキング会議、戦略会議の実施	ワーキング会議、戦略会議の実施	年数回ワーキング会議、戦略会議の実施	農林しいたけ課

里 5-1-(3) ゾーニングによる希少生物の保護

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
生物多様性の高い保護すべき地域における希少生物の保護や森林再生活動の実施 ふるさと1-1-1-⑥	A	舟志の森づくり ツシマヤマネコをはじめとする対馬の生物多様性保全に配慮した森づくりを推進する。	自然観察会 1回	自然観察会 1回	自然観察会 1回	自然共生課
		ツシマウラボシシジミ保全事業 希少種ツシマウラボシシジミの保全活動を実施する。	保護区（4地域、32か所）の維持管理	保護区（4地域、32か所）の維持管理 新規保護区（5か所）の設置 生息状況調査の実施（5回）	保護区（4地域、37か所）の維持管理 新規保護区（3か所）の設置 生息状況調査の実施（5回）	自然共生課
		希少植物保全事業 希少植物の保全活動を実施する。	植生保護区6か所の維持管理	植生保護区6か所の維持管理	植生保護区6か所の維持管理	自然共生課
自然共生社会に向けた土地利用の検討とゾーニングの検討 ふるさと1-1-3-③	A	希少植物保全事業 希少植物の保全場所を特定するために島おこし協働隊（生物多様性保全担当）を登用し、ゾーニングを行う。	優先対策地域における被害対策（防鹿柵設置管理）実施	優先対策地域における被害対策（防鹿柵設置管理、シカ捕獲）実施	優先対策地域における被害対策（防鹿柵設置管理）実施	自然共生課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
特定外来生物（ツマアカスズメバチ等）の駆除と普及啓発 ふるさと1-1-1-④	A	外来種ツマアカスズメバチ駆除事業 外来種ツマアカスズメバチの駆除を実施する。	巣駆除　50個 薬剤防除ベイト剤 500個設置	巣駆除　156個 薬剤防除ベイト剤 500個設置	巣駆除　50個 薬剤防除ベイト剤 500個設置	自然 共生課
ツシマヤマネコ等の交通事故防止に関する地域での啓発活動 ふるさと1-1-1-①	B	ツシマヤマネコ交通事故対策 ツシマヤマネコ交通事故防止を呼びかけるキャンペーンを実施する。	路上キャンペーン　4回	路上キャンペーン　8回 上対馬町比田勝 上県町佐須奈 峰町佐賀 美津島町 雞知、大山、芦浦	路上キャンペーン　4回	自然 共生課
		野生動物交通事故防止事業 道路の暗渠（カルバート）を利用して野生動物の移動経路を確保し、交通事故を防止する。	改修工事箇所の維持管理	改修工事箇所の維持管理 市道1か所 県道2か所	改修工事箇所の維持管理 市道1か所 県道2か所	自然 共生課
希少種保全に貢献する環境配慮型の農林産物のブランド化・PR支援 ふるさと1-1-1-⑦	B	ツシマヤマネコ米ブランド化・PR支援 ヤマネコに優しい環境配慮型農法による米づくりブランド化・ＰＲ支援を行う。	ツシマヤマネコ米のブランド化・PR支援	ツシマヤマネコ米のブランド化・PR支援	ツシマヤマネコ米のブランド化・PR支援	自然 共生課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
全国の動物園等と連携したPR活動 ふるさと1-1-1-②	C	ツシマヤマネコ普及啓発事業 全国のツシマヤマネコ飼育施設における啓発イベントを実施する。	啓発イベント　2回	啓発イベント　3回 井の頭自然文化園 京都市動物園 福岡市動物園	啓発イベント　2回	自然共生課
その他に検討したい施策	**優先度**	**実施事業名** **事業内容**	**事業の実施状況と評価** **令和7年度計画**	**令和7年度実績**	**令和8年度計画**	**担当課（R8）**
対馬版レッドリストの作成と生物多様性つしま戦略の策定 －	A	－ －	環境省レッドリスト、長崎県レッドリスト掲載種を対象として生息状況を把握し、必要な種については保護対策を検討	環境省、長崎県レッドリスト掲載種をはじめ対馬で減少している生物種の生息状況を把握し、必要な種については保護対策を検討、実施 保護区維持管理 植物6種、昆虫2種	環境省、長崎県レッドリスト掲載種をはじめ対馬で減少している生物種の生息状況を把握し、必要な種については保護対策を検討	自然共生課
外来種に関する市民への普及啓発 －	B	－ －	外来種対策（ツマアカスズメバチ防除活動）の情報発信 CATV放送　3回 市報掲載　2回	外来種対策（ツマアカスズメバチ防除活動）の情報発信 市報掲載　2回 住民説明会　6回 市公式SNS配信　1件 市民の生活に害を及ぼす外来種の情報発信 市HP掲載　1件 （メリケントキンソウ）	外来種対策（ツマアカスズメバチ防除活動）の情報発信 市報掲載　2回 住民説明会　6回 市公式SNS配信　1件 市民の生活に害を及ぼす外来種の情報発信 市HP掲載　1件 （メリケントキンソウ）	自然共生課



里 5-1-(4) 環境負荷の低い土地利用



総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
農業の担い手育成と確保（新規就農、兼業・副業での農業参入、集落営農等への支援） なりわい1-2-1-⑧	A	認定新規就農者の確保 新規就農希望者に対し、地域の担い手となる認定新規就農者への加入推進を行う。	加入推進	新規就農者なし	加入推進	農林しいたけ課
耕作放棄地や所有者不在農地の有効活用の推進 なりわい1-2-1-①	A	農地中間管理事業 農地の集積・配分を推進する。	20ha	68ha	20ha	農林しいたけ課
		中山間地域等直接支払交付金事業 農業生産の不利な地域で、集落単位で協定を定め、それに従い農業生産活動等を行う場合面積に応じ一定額を交付する。	23地区 319.6ha	23地区 319.6ha	23地区 319.6ha	農林しいたけ課
環境に配慮して生産した産品の増加と情報発信、協力事業者の発掘 なりわい3-1-1-⑤	B	－ －	－	なし	なし	農林しいたけ課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
（環境配慮型の）農業生産活動への支援 なりわい1-2-1-②	C	農業生産活動に係る支援の検討・実施 農業生産活動に係る支援を検討し、実施する。	検討・実施	環境保全型農業直接支払交付金による支援 3団体　34.76ha	環境保全型農業直接支払交付金による支援 3団体　34.76ha	農林しいたけ課
有害鳥獣対策（防護、捕獲、利活用）による農地の管理と保全 なりわい1-2-1-⑥	C	－ －	－	なし	なし	農林しいたけ課
その他に検討したい施策	**優先度**	**実施事業名** **事業内容**	**事業の実施状況と評価** **令和7年度計画**	**令和7年度実績**	**令和8年度計画**	**担当課（R8）**
みどりの食料システム戦略に従った有機農業やスマート農業の導入検討 －	B	－ －	－	なし	なし	農林しいたけ課



海 5-1-(5) 気候変動に適応する磯焼け対策の推進

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
藻場再生に資する活動や実験の推進 ふるさと1-2-3-②	A	離島漁業再生支援交付金事業 水産多面的機能発揮対策事業 離島漁業再生支援交付金事業及び水産多面的機能発揮対策事業等において、藻場再生活動や実験の推進を行う。	藻場再生活動の実施組織数 22組織	藻場再生活動の実施組織数 22組織	藻場再生活動の実施組織数 18組織	水産課
食害生物の捕獲の推進と有効活用の検討 ふるさと1-2-3-①	A	（有効活用の検討） 未利用魚等流通促進支援事業 （有効活用の検討） 未利用魚等を活用した商品開発や販路拡大に取り組む水産加工業者に対して支援を行い、新たな水産資源の掘り起こしと生産・販売力の拡大を図る。	なし（事業終了）	なし（事業終了）	未利用魚の漁獲量 25トン	水産課
大学や漁業者と連携した魚種・海藻類の資源量調査 ふるさと1-2-2-③	A	水産資源量調査 魚種、海藻類の資源量調査を実施する。	磯資源水揚げ調査実施 12回	磯資源水揚げ調査実施 12回	磯資源水揚げ調査実施 12回	水産課
漁業者や活動組織間の連携・情報共有 ふるさと1-2-3-③	B	磯焼け対策研修会 漁業者等を対象とした磯焼け対策に関する学習会を開催する。	磯焼け対策研修会の開催 1回	なし	磯焼け対策研修会の開催 1回	水産課

その他に検討したい施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
モニタリングや調査、栽培等を行う専門的な人材の確保や研究機関との連携 －	B	－ －	藻場環境調査研究委託一式	なし	藻場環境調査研究委託一式（5-1-(6)　「大学等との連携による資源量や環境モニタリングの手法の確立」の一環で実施	水産課



海 5-1-(6) 資源管理型水産業の推進

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
しまうみ管理計画に基づく水産資源の管理 ふるさと1-2-2-②	A	しまうみ管理計画の管理と取組のPR 海洋保護区設定推進協議会にて承認を得た各種計画の取組内容、実績等を対馬市HPにてPRを行う。	対馬市HPにてPR　1回	対馬市HPにてPR　1回	対馬市HPにてPR　1回	水産課
水産業・漁村の多面的機能の効果的・効率的な発揮に資する地域の取組への支援 なりわい1-1-1-②	A	水産多面的発揮対策事業 環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援する。	藻場の増加 （対前年比5%以上）	観察地点における平均値は5%以上 増加(5%以上)：9組織 増加(5%未満)：2組織 減少：4組織	藻場の増加 （対前年比5%以上）	水産課
対馬での取組や資源管理の重要性についての島内外への啓発活動 ふるさと1-2-1-④	B	対馬の海の重要性について啓発活動 対馬での取組や保護区設定の重要性についての島内外への啓発活動等を行う。	CATVでPR活動放映 各種イベントへの参加 年1回	なし	水槽「しますい」による普及啓発 各種イベントへの参加 年1回	水産課
大学等との連携による資源量や環境モニタリングの手法の確立 ふるさと1-2-2-⑤	B	環境モニタリングの手法の確立 九州大学と連携し、調査研究を行う。	藻場環境調査研究委託 一式	なし	藻場環境調査研究委託 一式	水産課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
海域利用者や陸域（農林業）との協力体制の構築 ふるさと1-2-1-③	B	海洋保護区設定推進協議会 漁業者、漁協、行政等で構成する協議会で、対馬版海洋保護区の設定に向けた協議・検討を行う。海洋保護区設定推進協議会による検討、沿岸から沖合までの海洋生態系の保全に関する検討、陸域（農林業）や海域利用者の協力体制の構築する。	協議会の開催　1回	協議会の開催　1回	協議会の開催　1回	水産課



海 5-1-(7) 海ごみの発生源対策

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
漁業関係者とボランティアによる漂流ごみの回収清掃活動の実施 ふるさと2-1-3-③	A	海岸清掃ボランティア 各事業の清掃ボランティアの募集、自主ボランティアによる海岸清掃活動への支援を実施する。	ボランティア人数（海岸） 50団体　1,000名	ボランティア人数（海岸） 78団体　2,998名	ボランティア人数（海岸） 50団体　1,000名	環境政策課
		海岸漂着物等地域対策推進事業 漁協への回収業務委託。回収された漂着ごみの運搬・処分を行う。	回収量　8,000㎥	48地区と契約 回収量　7,234㎥	回収量　8,000㎥	環境政策課
企業等との連携・誘致による回収したごみの資源化・研究開発 ふるさと2-1-3-⑦	A	企業との連携 資源化に協力してくれる企業を増やす。	3企業と契約を継続新たにブルーオーシャン対馬より、加炭材製造機を導入いただき、流木類を加炭材として製品化する	3企業と島内1社と契約中、新たに島内1社と契約 新たにブルーオーシャン対馬より、加炭材製造機を導入	3企業と島内2社との契約を継続 令和9年度より海岸漂着ごみ事業を民営化するため、令和8年度に準備	環境政策課
		SDGsスタディツアー SDGsスタディツアーを通じた協力企業を開拓する。	スタディツアーの実施 2回	スタディツアーの実施 16回	スタディツアーの実施 2回	SDGs戦略課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
海ごみ（発砲スチロールや大型ブイ）のマテリアルやサーマルとしての利用 ふるさと2-1-3-⑥	A	漂着ごみリサイクル推進事業 回収された漂流漂着ごみのリサイクル化と適正な処理を実施するため、漂着ごみ前処理施設において、発砲スチロールのペレット化と硬質プラスチックの破砕を行う。	破砕・ペレット化等によるごみ処理経費の削減	硬質プラスチックは破砕・チップ化し減容・資源化 発泡スチロールは8月までペレット化していたが、9月3日にインゴット機を導入し、1/50まで減容・資源化	硬質プラスチック及び発泡スチロールは現状の処理を行う	環境政策課
海ごみ（流木等）の島内処分と活用 ふるさと2-1-3-⑤	B	漂着ごみ（木くず等）の島内処理 木くず等の可燃系の漂着ごみの島内焼却処理を実施し、漂着ごみ処理経費の削減を図る。	加炭材製造機を導入し、流木類を加炭材として製品化を行う	加炭材製造機を令和８年３月に導入し、加炭材の製造を開始	連携企業と協力し、流木類を加炭材として製品化を行う	環境政策課
大学等と連携した全島のごみの量の把握と効率的な回収方法の検討 ふるさと2-1-3-⑩	B	－ －	－	なし	なし	環境政策課
海ごみをテーマにした国際サミット（韓国・中国・台湾・インドネシア等）の開催検討 ふるさと2-1-3-⑨	B	－ 今後開催を検討する。	大阪・関西万博「対馬ウイーク」にて 6月16日「日韓海洋環境シンポジウム」を開催 6月17日「日米海洋環境シンポジウム」を開催 同時にライブ配信も行い全世界に情報発信を行う	日韓・日米海洋環境シンポジウムの開催 6月16日：日韓 6月17日：日米 開催場所：大阪関西万博ブルーオーシャンドーム 来場者数：2,000人以上 ネット視聴者：2,000人超	なし	環境政策課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
日韓海岸清掃イベントやシンポジウムの企画と実施 ふるさと2-1-3-④ －	B	ビーチクリーンアップ事業 日韓海岸清掃事業を継続して実施する。	年1回実施	開催日：7月24日（午前） 開催場所：湊浜海水浴場 参加者：176人 午後からは、峰地区公民館でワークショップを開催	年1回実施	環境政策課
		シンポジウム事業 シンポジウムを企画し開催する。	日米韓海洋環境シンポジウムの開催	日韓・日米海洋環境シンポジウムの開催 6月16日：日韓 6月17日：日米 開催場所：大阪関西万博ブルーオーシャンドーム 来場者数：2,000人以上 ネット視聴者：2,000人超	なし	環境政策課
対馬市海岸漂着物対策推進協議会の開催・運営 ふるさと2-1-3-②	B	海岸漂着物等地域対策推進事業 中間支援組織(対馬CAPPA）に委託し海岸漂着物対策推進協議会を中心に清掃場所の住み分けについて協議する。	年3回実施	年３回実施 第１回：R7.10.1開催 第２回：R7.12.3開催 第３回：R8.1.29開催	年3回実施	環境政策課

その他に検討したい施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
海ごみの資源化に向けた研究センターの設立・誘致の検討 －	B	－ －	関西経済同友会関連企業と協議継続	関西経済同友会関連企業と協議継続	関西経済同友会関連企業と協議継続	環境政策課
企業版ふるさと納税等を活用した活動資金の調達 －	B	企業版ふるさと納税活用事業 海岸漂着物等地域対策推進事業に活用する。	寄付額　5,000千円	寄付額　9,357千円	寄付額　5,000千円	環境政策課



まち 5-1-(8) ごみの削減と資源化の推進

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
ごみのポイ捨てや不法投棄に対する啓発（警察や保健所との連携、CATV等の活用） ふるさと2-1-1-①	A	環境月間における不法投棄等監視合同パトロール 6月の環境月間に関係機関が連携して不法投棄等監視合同パトロールを実施し、不法投棄の未然防止と早期発見及び県民に不法投棄防止の啓発を行う。【県・市・警察・海上保安部】	6月の環境月間に実施（6月11～13日）	6月の環境月間に実施（6月11～13日）	6月の環境月間に実施（6月15～17日）	環境政策課
		不法投棄防止の啓発 CATVで不法投棄防止の啓発を行う。	年1回以上	市報で粗大ごみの違法回収、不法投棄の注意喚起等の記事を掲載	市報での不法投棄防止の啓発を行う また、不法投棄が多発する箇所について、監視カメラの設置を検討	環境政策課
生ごみの分別と回収率を上げるための仕組みの検討（市民のインセンティブの創出） ふるさと2-1-2-①	A	生ごみ等資源再利用システム事業 協力世帯の募集を行い、生ごみと廃食油の分別回収、堆肥化に向けた取り組みを行う。	協力世帯数　2,400世帯	協力世帯数　2,412世帯	協力世帯数　2,500世帯	環境政策課
4Rの推進（マイボトル・マイバッグ等使用の推奨、地域主催のフリーマーケット開催の推進） ふるさと2-1-1-③	A	生ごみ等資源再利用システム事業 生ごみ等の分別回収協力世帯を増やし、更なるごみの減量化と資源（堆肥）化を図る。	協力世帯数　2,400世帯	協力世帯数　2,412世帯	協力世帯数　2,500世帯	環境政策課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
不法投棄の監視と見回り対策 つながり3-1-2-③	B	海ごみ発生抑制事業 海ごみ発生抑制としてパトロールを実施する。	回収量　10,000kg （パトロール時の回収量は減少することが望ましい）	回収量　10,750kg	回収量　10,000kg （パトロール時の回収量は減少することが望ましい）	環境政策課
県道・市道でのボランティア清掃の実施支援 ふるさと2-1-1-②	C	ボランティアによる清掃活動への支援 ボランティア申請のあった個人・団体等に対して、ごみ袋の無償配付及びごみ処理手数料の免除措置を実施する。	ボランティアへの支援	ごみ袋の無償配付 ごみ処理手数料の免除	ボランティアへの支援	環境政策課
生ごみ処理器を設置する家庭に対する補助 ふるさと2-1-2-③	C	生ごみ処理器設置補助金 市内において家庭用の生ごみ処理器を設置する者に対して補助金を交付する。	設置台数　16台 容器式　10台 電気式　6台	設置台数　9台 容器式　1台 電気式　8台	設置台数　15台 容器式　5台 電気式　10台	環境政策課
廃棄物処理施設の維持・管理 ふるさと2-1-2-②	C	廃棄物処理施設の運転管理業務等委託 廃棄物処理施設の運転管理、施設年次点検補修等の各種業務の発注、契約及び履行確認を行う。	発注、契約及び履行確認	各施設運転管理業務・施設年次点検修理等各種業務の発注契約執行、履行確認を行った	ナフサショックの影響により施設運転に支障が出ないよう委託業者と調整を密に行う	環境政策課

その他に検討したい施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
プラスチックごみの分別に関する協議 －	B	－ －	資源ごみの回収率向上を図るため、ごみの分別排出の周知を行うとともに、各町の資源ごみの回収回数の統一及び資源ごみ袋の価格改定を行う予定	令和8年度より対馬市内の資源ごみの回収回数を統一、及び資源ごみ袋の価格改定を行うことが決定	資源ごみの回収回数、及び資源ごみ袋の価格改定により資源ごみの回収量に変化があるか調査を行う	環境政策課



まち　5-1-(9) ネコの適正飼養の推進

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
ネコの適正飼養の推進 ふるさと1-1-1-③	A	ネコ適正飼養推進事業 飼いネコの適正飼養推進及びノラネコの不妊化を推進する。	啓発イベント　1回 （獣医師会協力） 飼いネコ適正飼養推進キャンペーン（飼いネコ避妊去勢補助）の実施	啓発イベント　1回 （獣医師会協力） 飼いネコ適正飼養推進キャンペーンの実施（飼いネコ避妊去勢補助　80件）	啓発イベント　1回 （獣医師会協力） 飼いネコ適正飼養推進キャンペーン（飼いネコ避妊去勢補助）の実施	自然 共生課

その他に検討したい施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
条例の市民認知度向上に向けた普及啓発（飼い主登録率及び不妊化率向上等） －	A	－ －	広報等を活用した条例周知及び適正飼養呼びかけ	対馬保健所、警察と連携して対馬市CATV文字放送にて動物の遺棄虐待防止および適正飼養を呼びかけ（R7年11月放送）	広報等を活用した条例周知及び適正飼養呼びかけ	自然 共生課
飼いネコの完全室内飼育の推進 －	A	－ －	不適正飼養の現場確認、注意指導	不適正飼養の現場確認、注意指導等　30回	不適正飼養の現場確認、注意指導	自然 共生課








まち 5-1-(10) 地産地消の仕組みづくり



総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
再生可能エネルギーの導入検討（洋上風力発電の導入に向けた調査等） ふるさと2-2-3-①	B	浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業委託業務 ①浮体式洋上風力発電によるエネルギーの地産地消を目指すにあたって必要な各種調査(海域調査・風況調査)を実施する。 ②対馬市における事業性・二酸化炭素削減効果の見通しなどの検討を行う。	－	なし	なし	SDGs戦略課
公共施設における再生可能エネルギー活用の検討 ふるさと2-2-1-③	B	－ －	－	なし	なし	SDGs戦略課
木質バイオマス（薪など）の島内利用の推進 ふるさと2-2-1-①	A	対馬市森林環境譲与税活用事業補助金 林地残材解消のため、森林環境譲与税において未利用材の搬出に対して支援する。	未利用材搬出　28,000t	未利用材搬出　25,019t	未利用材搬出　28,000t	農林しいたけ課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
木質バイオマスボイラーの導入拡大 ふるさと2-2-1-②	B	湯多里ランドつしま熱エネルギーサービス事業 湯多里ランドつしまにおいて、チップボイラを更新するとともに、民間熱エネルギー供給会社と協定を締結し、ESCO事業を開始する。	－	なし	なし	農林しいたけ課
民泊（農林漁家民宿）の推進（登録軒数増加や受入体制整備等） なりわい2-1-2-⑥	B	教育旅行推進事業 民泊を活用した旅行誘致にかかる受入体制を整備する。	民泊活用推進及びエコツーリズム推進に向けた事業者連携機会（意見交換会、学習会）の開催　3回	民泊活用推進及びエコツーリズム推進に向けた事業者連携に向けた個別ヒアリング　14者 意見交換会・学習会　3回	民泊活用推進及びエコツーリズム推進に向けた事業者連携機会（意見交換会、学習会）の開催　3回	観光交流商工課
学校給食での対馬産品の活用の推進 なりわい2-2-1-③	B	地場産品地産地消推進事業 学校給食で地場産品を使用した場合1/2を補助する。（対馬生まれのあか牛、養殖クロマグロ、アナゴ、長崎県対馬市イノシシ・シカ肉衛生管理ガイドラインにより処理された精肉及び加工品は3/4）	学校給食において、対馬産の農林水産物を使用する割合　15.0%	学校給食において、対馬産の農林水産物を使用する割合　19.2%	学校給食において、対馬産の農林水産物を使用する割合　15.0%	農林しいたけ課
地域資源を活用した体験メニュー、旅行商品の開発支援 なりわい2-1-2-③	A	観光コンテンツ創出事業 観光の核となる観光コンテンツの創出を図り、対馬への来島を促進する。	再訪意欲を促進することを目的に新たなコンテンツの創出を図る　2つ	再訪意欲の促進を目的とした観光体験コンテンツとして、砲台跡コンテンツ、二次交通コンテンツの創出に向けた取り組みを進めた	再訪意欲の促進を目的とした観光体験コンテンツとして、砲台跡コンテンツ、二次交通コンテンツの創出を図る	観光交流商工課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
観光推進にかかる対馬の魅力発信・PRと受入体制の整備 なりわい2-1 －	A	対馬産品を活用した魅力発信事業 よりあい処つしまを拠点にLEDビジョンや対馬産品の情報発信と対馬産品のPR・販売イベントを実施する。	対馬産品を活用した魅力発信事業 物産展イベント ラジオによる情報発信 情報サイト、情報誌による情報発信	対馬産品を活用した魅力発信事業 物産展イベント　12回 ラジオによる情報発信　5回 情報サイト、情報誌等　5件	対馬産品を活用した魅力発信事業 物産展イベント ラジオによる情報発信 情報サイト、情報誌による情報発信	観光交流商工課
		旅行社・マスメディア等対応事業 マスメディア等に対して取材対応を行うことで、対馬にとって効果的な魅力発信を行い、誘客へ繋げる。	対馬の観光PRに資すると判断されるメディアや旅行社に対して、きめ細やかなアテンド等の取材対応を図ることで、観光誘客の促進を図る	旅行社・マスメディア等対応 旅行会社　25社 マスメディア　57社	対馬の観光PRに資すると判断されるメディアや旅行社に対して、きめ細やかなアテンド等の取材対応を図ることで、観光誘客の促進を図る	観光交流商工課
インタープリターの養成、地域案内人・コーディネーターの養成 ひと3-2-2-①	A	ガイド養成事業 ガイド人材の不足しているため、ガイド養成事業、ガイド用パンフレット等を作成し、新たなガイドを創出する。	新規・既存含めたガイド人材向け講習 延べ参加人数　50名	新規・既存含めたガイド人材向け講習 開催回数全　　10回 延べ参加人数　108名	新規・既存含めたガイド人材向け講習 延べ参加人数　50名	観光交流商工課
対馬産品を取扱う島内の小売店や宿泊・飲食店への支援 なりわい2-2-1-②	B	－ －	－	なし	なし	観光交流商工課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
島内消費推進に向けた市民への普及啓発・PRイベントの実施 なりわい2-2-1-①	B	－ －	－	なし	なし	観光交流商工課
大自然を満喫できるトレッキング等の体験メニューの拡大 なりわい2-1-1-④	B	観光コンテンツ創出事業 観光の核となる観光コンテンツの創出を図り、対馬への来島を促進する。	再訪意欲を促進することを目的に、新たなコンテンツの創出を図る　2つ	再訪意欲の促進を目的とした観光体験コンテンツとして、砲台跡コンテンツ、二次交通コンテンツの創出に向けた取り組みを進めた	再訪意欲の促進を目的とした観光体験コンテンツとして、砲台跡コンテンツ、二次交通コンテンツの創出を図る	観光交流商工課
その他に検討したい施策	**優先度**	**実施事業名** **事業内容**	**事業の実施状況と評価** **令和7年度計画**	**令和7年度実績**	**令和8年度計画**	**担当課（R8）**
アドベンチャーツーリズムやスタディツアー等の推進 －	A	持続可能な観光地づくり推進事業 アドベンチャーツーリズムやエコツーリズムの推進により持続可能な観光地づくりを促進する。	エコツーリズム推進全体構想を環境省に申請する	エコツーリズム推進全体構想の申請に向けた環境省との事前協議に着手した	エコツーリズム推進全体構想について、環境省の認定を受ける	観光交流商工課



ひと

5-2-(1) 学校教育でのESD推進

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
全小中学校における地域の特徴を生かしたふるさと学習の展開 ひと2-2-2-①	A	「ふるさと学習」の推進 全ての学校が、「ふるさと学習」の全体計画を作成し、地域の特徴を生かした学習を展開する。	全校で実施	全校で実施	全校で実施	学校教育課
コミュニティー・スクール（学校運営協議会制度）の検討 ひと2-2-1-④	A	学校運営協議会の導入 学校運営協議会の導入に向け、各学校と連携し、推進していく。	令和8年度4校の導入準備、令和9年度導入予定4校への説明・依頼	12月に小学校4校、中学校4校に対し説明、依頼を実施	令和9年度4校の導入準備、令和10年度導入予定4校への説明・依頼	学校教育課
（教育またはSDGs推進）コーディネーターの確保 ひと2及び3	B	SDGs研究員事業 「SDGs研究員」を配置し、①市民等各主体のSDGs実行支援、②学校教育や企業教育、対馬グローカル大学等を通じたSDGs推進の担い手づくりにより、SDGs行動の加速化を図る。	1名を継続採用（8月31日まで）	1名を継続採用（8月31日まで）	島おこし協働隊の公募に対する応募数低下により、本制度による公募・任用は行わず、「地域活性化起業人（副業型）」制度で2名を任用し、現役の企業人が有するノウハウ・経験・技術などをESD推進を含めて持続可能なしまづくりに役立てる	SDGs戦略課



総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
中学校と高校の連携による教育の質の維持・向上 ひと2-2-1-①	B	中高連携協議会の開催 ３高校の校長、中学校校長、教育委員会で会議を実施し、総合学習等での中高連携について協議する。	本体会議　1回 各高校部会　3回 合計　4回実施	本体会議　1回（7月） 各高校部会　3回 （11月、12月） 合計　4回実施	本体会議　1回 各高校部会　3回 合計　4回実施	学校教育課
		SDGs人財育成事業 （対馬学フォーラムの開催） 地元小中学校、高校と大学生との交流を実施する。	SDGs人財育成事業実施 （対馬学フォーラム開催）	SDGs人財育成事業にて対馬未来フォーラム2025を開催、ポスター発表大会やワークショップを通じて、市内高校生や大学生を含む市民、島外参加者が、活動成果を共有し交流を深めた	2050年：世界最先端のサステナブルアイランド推進事業において、対馬研究・実践活動に係る成果発表会を開催	SDGs戦略課
高校生参加枠を設けた対馬グローカル大学「高校生ゼミ」の開催 ひと2-2-1-②	B	SDGs人財育成事業 島外学生20人、島内高校生10人を集め、短期合宿で地域おこし活動を実践する。	短期合宿（SDGs実践塾）を実施	短期合宿（SDGs実践塾）を実施 島外学生　11名 （大学生9名、高校生2名） 島内高校生　2名	現状・課題に鑑み生徒・学生向けの短期合宿は実施しない。対馬グローカル大学に代わる通年型の新たな人財育成プログラム（通年開催）を開講予定であり、生徒・学生に当該プログラムへの参加を広く呼び掛ける	SDGs戦略課
広報つしま、対馬市CATVなど多様な媒体での情報発信 ひと2-2-1-⑦	C	広報つしま、「つしまる通信」での情報発信 広報つしま及びつしまる通信で、適宜高校のイベントや成果、各種案内などの情報発信を実施する。	適宜実施	各高校単位で情報発信を実施	適宜実施	学校教育課

ひと 5-2-(2) 各種学びの機会の創出

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
対馬グローカル大学の開催 ひと3-2-1-④	A	SDGs人財育成事業 持続可能なしまづくり（SDGs）を担う人財を育成する。	SDGs実践塾を開催	ＳＤＧｓ実践塾を実施 島外学生等　11名 （大学生9名、高校生2名） 島内高校生　2名　参加	対馬グローカル大学に代わる通年型の新たな人財育成プログラムを開講予定 生徒・学生に特化した現地プログラムは廃止 当該プログラムへの参加を広く呼び掛ける これにより島内外の多世代・多主体共学・共創を通じた人財育成を推進	SDGs戦略課
SDGs研究奨励補助制度の継続 ひと3-1-3-①	B	SDGs人財育成事業 大学の活力・専門性を活かし地域活性化に資するため、学生・地域双方のニーズに応じた現地活動プログラムを提供する。	SDGs人財育成事業 1人/年の学生誘致	SDGs人財育成事業 1人/年の学生誘致	2人/年のインターンシップの学生を誘致 またＳＤＧｓ研究奨励補助制度は財源不足により運用を停止 研究活動に取り組む学生には、活動滞在拠点施設の無償提供や人財育成プログラム等うを通じたサポートを行う	SDGs戦略課
SDGsコーディネーターの確保 ひと2及び3	B	SDGs研究員事業 「SDGs研究員」を配置し、①市民等各主体のSDGs実行支援、②学校教育や企業教育、対馬グローカル大学等を通じたSDGs推進の担い手づくりにより、SDGs行動の加速化を図る。	1名を継続採用 （8月31日まで）	1名を継続採用 （8月31日まで）	島おこし協働隊の公募に対する応募数低下により、本制度による公募・任用は行わず、「地域活性化起業人（副業型）」制度で2名を任用し、現役の企業人が有するノウハウ・経験・技術などをESD推進を含めて持続可能なしまづくりに役立てる	SDGs戦略課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
対馬学フォーラムの開催・対馬SDGsプラットフォームの設置 ひと3-1-2-① ひと3-1-2-②	B	SDGs人財育成事業 （対馬学フォーラムの開催） 地元小中学校、高校と大学生との交流を実施する。	SDGs人財育成事業実施 （対馬学フォーラム開催）	SDGs人財育成事業にて対馬未来フォーラム2025を開催、ポスター発表大会やワークショップを通じて、市内高校生や大学生を含む市民、島外参加者が、活動成果を共有し交流を深めた	2050年:世界最先端のサステナブルアイランド推進事業において、対馬研究・実践活動に係る成果発表会を開催する	SDGs戦略課
		対馬SDGsプラットフォーム 対馬SDGsパートナーズの交流や情報交換等を通じて、各々の活動の活性化を図る。	コミュニケーションツールを活用して運用	コミュニケーションツールを推進・管理するコーディネート人材の不足により、対馬SDGsプラットフォームの運用に至らなかった	コーディネート人材の不足という課題に対応するため、対馬SDGsプラットフォームの見直しを検討する	SDGs戦略課
インタープリターの養成、地域案内人・コーディネーターの養成 ひと3-2-2-①	A	ガイド養成事業 ガイド人材の不足しているため、ガイド養成事業、ガイド用パンフレット等を作成し、新たなガイドを創出する。	新規・既存含めたガイド人材向け講習 延べ参加人数　50名	新規・既存含めたガイド人材向け講習 開催回数全　　10回 延べ参加人数　108名	新規・既存含めたガイド人材、市民向け講座 延べ参加人数　50名	観光交流商工課
地域資源を活用した体験メニュー、旅行商品の開発支援 なりわい2-1-2-③	A	観光コンテンツ創出事業 観光の核となる観光コンテンツの創出を図り、対馬への来島を促進する。	再訪意欲を促進することを目的に、新たなコンテンツの創出を図る　2つ	再訪意欲の促進を目的とした観光体験コンテンツとして、砲台跡コンテンツ、二次交通コンテンツの創出に向けた取り組みを進めた	再訪意欲の促進を目的とした観光体験コンテンツとして、砲台跡コンテンツ、二次交通コンテンツの創出を図る	観光交流商工課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
大自然を満喫できるトレッキング等の体験メニューの拡大 なりわい2-1-1-④	B	観光コンテンツ創出事業 観光の核となる観光コンテンツの創出を図り、対馬への来島を促進する。	再訪意欲を促進することを目的に、新たなコンテンツの創出を図る　2つ	再訪意欲の促進を目的とした観光体験コンテンツとして、砲台跡コンテンツ、二次交通コンテンツの創出に向けた取り組みを進めた	再訪意欲の促進を目的とした観光体験コンテンツとして、砲台跡コンテンツ、二次交通コンテンツの創出を図る	観光交流商工課
その他に検討したい施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
対馬博物館教育普及事業の拡充 ふるさと3-1-2-⑤	B	教育普及事業 体験学習や講演会、ワークショップ、フィールドワークなどを実施する。	展示解説会やワークショップを12回実施	展示解説会やワークショップを27回実施	展示解説会やワークショップを21回実施	博物館学芸課



ひと 5-2-(3) 専門的人材の確保・育成




総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
島おこし協働隊制度の拡充と展開 ひと1-1-3-④	A	島おこし協働隊制度 都市出身の意欲と専門性あふれる人材を積極的に受け入れ、「島おこしの新たな担い手」＝「島おこし協働隊員」として、市長が最長3年の任期で任用する。	受入人数　8人	受入人数　1人	受入人数　3人	地域づくり課
各種移住・定住支援の充実と展開 ひと1-1-3-②	B	しま暮らし支援補助金 市外に5年以上居住し、市内へ移住した方で引き続き市内へ住み続ける意思のある方へ引っ越し支援、住宅借上支援、住宅賃貸支援、子育て世帯移住支援を助成する。	随時支援をおこなう	支援件数　74件 移住者実績　130名	随時支援をおこなう	地域づくり課
大学・企業等との共同研究及び実践活動の推進 ひと3-1-3-① ひと3-1-3-②	A	SDGs人財育成事業 大学の活力・専門性を活かし地域活性化に資するため、学生・地域双方のニーズに応じた現地活動プログラムを提供する。	SDGs人財育成事業 1人/年の学生誘致	SDGs人財育成事業 1人/年の学生誘致	インターンシップの学生を誘致　2人/年	SDGs戦略課
		SDGs人財育成事業 東京農業大学の食品加工に関する知見を応用し、短期的な大量生産や新たな食品加工を試みる。	生産コスト抑制策検討	生産コスト抑制策検討	なし	SDGs戦略課

総合計画等で記載された施策	優先度	実施事業名 事業内容	事業の実施状況と評価 令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	担当課（R8）
SDGsパートナーシップ制度等の推進 ひと3-1-2-②	A	対馬SDGsプラットフォーム 対馬SDGsパートナーズの交流や情報交換等を通じて、各々の活動の活性化を図る。	コミュニケーションツールを活用して運用	コミュニケーションツールを推進・管理するコーディネート人材の不足により、対馬SDGsプラットフォームの運用に至らなかった	コーディネート人材の不足という課題に対応するため、対馬SDGsプラットフォームの見直しを検討する	SDGs戦略課



計画の実行にあたって

■意識改革と行動変容への数値目標の設定

市民の意識改革と行動変容に直接関わる施策の数値目標を設定し、進捗を確認していきます。



指標（KPI）	数値目標		達成状況						備　　考	担当課（R8）
	現状（R3）	目標（R9）	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
1. 生ごみの循環の回収協力世帯（累計）	2,096世帯	5,000世帯	2,207世帯（111）	2,288世帯（81）	2,342世帯（54）	2,412世帯（70）			（　　）は新規加入世帯数	環境政策課
2. 1人1日当たりごみ総排出量	1,102ｇ	980ｇ	1,127g	1,145g	1,085ｇ	1,039ｇ				環境政策課
3. 年間の海ごみ回収ボランティアの人数	317名	1,000名	1,312名	1,932名	2,288名	2,998名				環境政策課
4. 対馬SDGsパートナーズ登録数（累計）	0組	300組	44組（44）	72組（28）	100組（28）	105組（5）			令和4年1月から登録開始 （　　）は新規登録数	SDGs戦略課
5. 対馬グローカル大学修了者数（累計）	77名	400名	129名（52）	150名（21）	188名（38）	217名（29）			（　　）は新規修了者数	SDGs戦略課
6. 飼養登録されたネコの屋内飼養率	64%	80%	59%	51%	62%	58%				自然共生課

対馬市の環境指標等

1. 気象の状況

【厳原】（統計期間　上段：1991年～2020年　下段：1981年～2010年）

項　目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均又は年合計
平均気温（℃）	6.0 5.7	6.9 6.7	10.0 9.7	14.2 14.0	18.2 17.8	21.3 21.1	25.4 25.1	26.8 26.4	23.4 23.2	18.7 18.4	13.3 13.0	8.0 8.0	16.0 15.8
日最高気温（℃）	9.2 8.9	10.5 10.2	13.6 13.0	18.1 17.8	22.2 21.5	24.7 24.3	28.3 27.8	30.0 29.5	26.5 26.3	22.3 22.0	17.1 16.8	11.6 11.6	19.5 19.1
日最低気温（℃）	2.5 2.2	3.2 3.1	6.3 6.1	10.3 10.0	14.4 14.0	18.5 18.0	23.1 22.9	24.2 23.8	20.6 20.5	15.3 14.9	9.6 9.3	4.3 4.4	12.7 12.4
平均風速（m/ｓ）	3.3 3.3	3.2 3.3	3.3 3.2	3.3 3.3	2.9 3.0	2.6 2.6	3.2 3.2	2.9 2.7	2.8 2.8	2.8 2.8	2.8 2.9	3.1 3.1	3.0 3.0
降水量（ｍｍ）	80.1 77.4	94.7 93.4	172.3 159.2	218.4 193.3	241.2 231.9	294.4 331.5	370.5 367.4	326.4 300.7	235.5 235.1	120.8 97.8	100.6 93.6	68.0 53.0	2302.6 2235.2
相対湿度（%）	61 59	62 61	65 65	68 67	72 74	82 82	83 83	81 81	78 77	70 69	68 67	63 60	71 71

【美津島】（統計期間　上段：2003年～2020年　下段：2003年～2010年）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均又は年合計
平均気温（℃）	5.5 5.4	6.7 6.9	9.6 9.3	13.7 13.6	17.8 17.4	20.9 20.9	24.9 24.6	26.5 26.2	22.9 23.2	18.4 18.6	13.3 13.2	7.6 7.7	15.7 15.6
日最高気温（℃）	8.1 8.1	9.7 9.9	12.9 12.5	17.3 17.2	21.6 21.0	24.1 24.1	27.9 27.6	29.5 29.3	25.8 26.1	21.5 21.7	16.3 16.3	10.4 10.7	18.8 18.7
日最低気温（℃）	2.7 2.7	3.6 3.8	6.4 6.1	10.3 10.0	14.5 14.2	18.4 18.2	22.6 22.3	24.1 23.8	20.6 20.9	15.6 15.6	10.2 10.1	4.6 4.7	12.8 12.7
平均風速（m/ｓ）	4.1 4.2	3.9 4.1	3.9 4.1	3.9 4.0	3.4 3.8	3.1 3.4	3.2 3.4	3.3 3.5	3.7 3.9	3.6 3.5	3.5 3.6	4.1 4.1	3.7 3.8
降水量（ｍｍ）	60.9 62.2	80.3 78.8	130.1 124.3	157.8 146.7	179.8 227.1	224.3 219.7	325.9 407.5	249.2 276.8	247.6 208.0	96.6 59.6	73.3 56.1	56.4 45.3	1882.2 1912.1

【鰐浦】（統計期間　上段：1995年～2020年　下段：1995年～2010年）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均又は年合計
平均気温（℃）	5.8 5.7	6.9 7.0	9.9 9.7	13.9 13.9	17.8 17.6	20.8 20.7	24.4 24.2	26.1 25.9	22.9 22.9	18.9 18.9	13.6 13.3	8.0 8.2	15.8 15.7
日最高気温（℃）	8.6 8.8	10.1 10.5	13.4 13.4	17.5 17.7	21.2 21.1	23.7 23.9	27.1 27.0	28.9 28.8	25.3 25.5	21.4 21.7	16.2 16.3	10.8 11.1	18.7 18.9
日最低気温（℃）	3.4 3.2	4.5 4.4	7.3 7.0	11.3 11.2	15.3 15.0	18.7 18.5	22.5 22.2	24.3 24.0	21.2 21.1	17.0 16.9	11.4 11.0	5.6 5.7	13.6 13.4
平均風速（m/s）	5.8 6.0	5.4 5.5	5.2 5.4	4.9 4.8	4.3 4.3	3.9 4.1	4.1 4.1	4.2 4.3	5.0 5.1	4.8 4.7	4.8 4.8	5.7 5.7	4.8 4.9
降水量（mm）	43.3 44.5	46.9 47.2	87.5 90.8	105.1 99.8	113.6 132.8	191.5 206.2	264.9 291.9	230.7 257.5	159.9 123.8	78.8 71.3	65.8 62.2	36.8 35.4	1434.9 1480.6

（出典：気象庁資料を基に対馬市作成）

2. 大気の状況【環境基準達成…○、未達成…×】

測定項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
二酸化硫黄（SO2）	○	○	○	○	○	○
浮遊粒子状物質（SPM）	○	×	×	○	○	×
二酸化窒素（NO2）	○	○	○	○	○	○
光化学オキシダント（OX）	×	×	×	×	×	×
微小粒子状物質（PM2.5）	○	○	○	○	○	○

（出典：長崎県大気環境調査結果を基に対馬市作成）

3. 水域の状況　　ＢＯＤ又はＣＯＤ【環境基準達成…○、未達成…×】

水域名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
舟志川	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
佐護川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三根川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
仁田川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐須川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
瀬川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐須奈港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
比田勝港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
竹敷港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
厳原港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小茂田港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（出典：長崎県公共水域及び地下水の水質測定結果を基に対馬市作成）

4. 人口及び世帯数（各年10月1日時点）

年次	世帯数	人口			年齢別人口			
		総数	男	女	14歳以下	15～64歳	65歳以上	年齢不詳
●H22年	13,813	34,407	16,705	17,702	4,837	19,435	10,135	0
●H27年	13,393	31,457	15,361	16,096	4,122	16,651	10,675	9
●R2年	12,681	28,502	14,060	14,442	3,311	14,166	10,989	36
R6年	12,258	25,975	12,848	13,127	2,671	12,493	10,775	36
R7年	12,195	25,333	12,579	12,754	2,511	12,108	10,678	36

●は国勢調査

（出典：国勢調査及び長崎県異動人口調査を基に対馬市作成）

5. 産業分類別人口

年次 / 産業別		H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年	R2年
総数		21,367	21,292	20,219	18,066	15,507	14,807	14,059
第1次産業		6,190	5,621	4,832	3,806	3,357	2,944	2,588
	農　業	1,235	1,005	712	667	585	511	431
	林　業	244	152	128	79	173	141	159
	漁　業	4,711	4,464	3,992	3,060	2,599	2,292	1,998
第2次産業		4,131	4,398	3,965	2,971	1,910	1,938	1,860
	鉱　業	52	56	51	27	9	10	18
	建設業	2,637	3,084	2,963	2,411	1,391	1,374	1,358
	製造業	1,442	1,258	951	533	510	554	484
第3次産業		11,043	11,263	11,419	11,266	10,223	9,910	9,384
	卸売・小売業	3,710	3,568	3,577	2,708	2,991	2,621	1,750
	サービス業	3,892	4,347	4,496	5,791	4,801	4,846	5,300
	公　務	1,956	2,020	2,046	1,800	1,729	1,739	1,631
	その他	1,485	1,328	1,300	967	702	704	703
分類不能の産業		3	10	3	23	17	15	227

（出典：国勢調査）

6. 農業の状況

1）農家数

年次	農　家　数　（戸）		
	計	販売農家	自給的農家
2015（H27）	1,111	541	570
2020（R2）	906	362	544

（出典：農林業センサス）

2）経営耕地のある農家の経営耕地面積

年次	経営耕地面積（ha）		
	計	販売農家	自給的農家
2015（H27）	528	432	96
2020（R2）	415	326	89

（出典：農林業センサス）

3）耕作放棄地の状況

	合計面積（ha）	うち再生利用が可能と見込まれる農地面積	うち再生利用が困難と見込まれる農地面積
R3年度	468.8	128.6	341.2
R4年度	185.9	109.2	76.7
R5年度	183.1	103.5	79.6
R6年度	129.6	101.0	28.6
R7年度	131.9	104.3	27.6

（出典：対馬市農業委員会事務局資料提供）

7. 林業の状況

1）森林面積

区　　分	面　積	構成比率
対馬の面積	70,742 ha	100.0%
林野面積	63,105 ha	89.2%
国有林	4,933 ha	7.0%
民有林	58,172 ha	82.2%
県営林	1,349 ha	1.9%
市有林	1,478 ha	2.1%
学校林	17 ha	0.02%
私有林	55,265 ha	78.1%

（出典：長崎県　対馬管内林業の概要を基に対馬市作成）

2）林産物生産実績（1月～12月）

年次	しいたけ		木炭（t）	木　材				
	乾しいたけ（t）	生しいたけ（t）		しいたけ原木（㎥）	製材用素　材（㎥）	チップ材（㎥）	その他（㎥）	合計（㎥）
R2	20.1	60.0	26.4	2,197	35,518	36,331	0	74,046
R3	20.0	49.8	22.1	2,913	40,608	33,553	0	77,074
R4	17.2	27.0	17.8	2,913	41,539	36,056	0	80,508
R5	17.7	21.9	20.6	1,213	37,339	37,710	0	76,262
R6	13.9	6.2	17.3	1,062	32,699	39,427	0	73,188
R7	12.0	6.3	15.8	1,132	32,592	41,972	0	75,696

（出典：長崎県　対馬管内林業の概要を基に対馬市作成）

3）温室効果ガスの排出削減量証明（クレジット）の取引可能量の推移

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1,236 t-CO2	1,211 t-CO2	1,041 t-CO2	1,018 t-CO2	1,005 t-CO2	992 t-CO2

（出典：対馬市農林しいたけ課資料提供）

8. 汚水処理形態別人口（各年度末）

年度	各年度末住基人口	集落排水人口	合併処理浄化槽人口	合併処理浄化槽普及率	汚水処理人口普及率
H28	31,542	247	9,835	31.2%	32.0%
H29	31,054	238	9,995	32.2%	33.0%
H30	30,524	237	10,159	33.3%	34.1%
R1	29,976	232	10,533	35.1%	35.9%
R2	29,089	222	10,632	36.6%	37.3%
R3	28,483	217	10,921	38.3%	39.1%
R4	27,854	215	11,250	40.4%	41.2%
R5	27,416	211	11,495	41.9%	42.7%
R6	26,783	193	11,810	44.1%	44.8%
R7	26,087	195	12,140	46.5%	47.3%

（出典：浄化槽等処理人口調査を基に対馬市作成）

9. ごみの排出量

年度	各年度10.1現在住基人口	総排出量（t）	可燃ごみ（t）	不燃ごみ（t）	資源ごみ（t）	粗大・その他のごみ（t）	年間ごみ処理費用（千円）	1人1日当たり排出量（g/人・日）	年間1人当たり処理費用（円/人・年）
H30	31,068	11,195	9,738	485	707	265	1,840,669	987	59,246
R1	30,465	11,585	10,074	495	732	284	1,972,146	1,039	64,735
R2	29,577	12,321	9,408	699	604	1,610	1,279,962	1,141	43,276
R3	28,964	11,649	9,299	596	551	1,203	1,419,895	1,102	49,023
R4	28,348	11,658	9,217	568	590	1,283	1,519,654	1,127	53,607
R5	27,957	11,718	9,278	545	552	1,343	1,252,283	1,145	44,793
R6	27,222	10,783	8,357	547	654	1,225	1,342,777	1,085	49,327

（出典：一般廃棄物処理事業実態調査を基に対馬市作成）

10. 対馬の電力需要等の状況

1）電力需給の状況

項　　目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
年間供給実績（ＭＷｈ）	166,188	168,316	161,831	163,955	169,549	165,709
最大電力負荷（ｋＷ）	38,260	36,470	36,800	36,340	38,940	36,340
最小電力負荷（ｋＷ）	13,750	13,800	12,170	13,210	13,210	13,170

2）再生可能エネルギー（電気）の導入状況

受給契約容量（ｋＷ）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
太陽光発電（ｋＷ）	9,428	9,347	9,362	9,617	9,698	10,057
風力発電（ｋＷ）	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
そ の 他	－	－	－	－	－	－

（出典：九州電力（株）対馬配電事業所提供資料を基に対馬市作成）

11. 燃油価格の動向（各年4月時点）

1）レギュラーガソリン価格の動向

（単位：円/Ｌ）

	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年
全　国	150	174	168	175	187	168
長崎県	156	183	179	183	192	178
対　馬	139	186	186	193	213	191

2）軽油価格の動向

（単位：円/Ｌ）

	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年
全　国	131	154	148	155	166	157
長崎県	138	164	159	164	173	167
対　馬	135	167	167	174	194	181

3）灯油価格の動向

（単位：円/18Ｌ）

	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年
全　国	1,651	2,062	2,000	2,106	2,310	2,499
長崎県	1,702	2,143	2,063	2,177	2,367	2,602
対　馬	1,760	2,270	2,220	2,340	2,687	2,613

（出典：長崎県原油価格高騰対策本部資料を基に対馬市作成）

12. その他の指標

1）自動車（乗用、小型二輪、軽自動車）保有台数（各年度末）

種　　類	R1	R2	R3	R4	R5
乗　　用	5,769	5,721	5,612	5,586	5,691
軽自動車	16,630	16,584	※引用元に記載なし	16,520	16,659
小型二輪	218	214	215	233	243
計	22,617	22,519	5,827	22,339	22,593

（出典：長崎県大気環境調査結果資料を基に対馬市作成）

2）市内の低公害車（ＨＶ、ＰＨＶ、ＥＶ車）導入台数

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
普1,208台 軽　617台	普1,335台 軽　750台	普1,395台 軽　907台	普1,522台 軽1,043台	普1,652台 軽1,159台

（出典：対馬振興局税務課、対馬市税務課資料提供）

3）ツシマヤマネコ交通事故発生状況

年　　度			R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
発　生　件　数			7	3	8	6	5	4	11
	うち、死亡数		7	2	7	6	4	4	10
		死亡個体性別 オス	2	1	4	4	2	2	6
		死亡個体性別 メス	5	1	3	2	2	2	3
		死亡個体性別 不明	0	0	0	0	0	0	1

（出典：ツシマヤマネコ保護増殖事業関係会議資料を基に対馬市作成）




森・川・里・海・まち・ひと・しごとの好循環と
豊かな共生社会を次世代に引き継ごう!